

草津市協働のまちづくり推進計画 令和5年度取組実績および令和6年度予定 【中間支援組織】

※担当表記 事業団…草津市コミュニティ事業団、社協…草津市社会福祉協議会

目標値に関する項目…資料4の目標数値に関わる項目です。

資料6

	推進項目	No.	事業名	事業の目的	担当	令和5年度		事業評価 (1～5)	項目評価 (A～E)	令和6年度	
						決算額	取組実績			予算額	取組予定
A	市民公益活動団体等の交流促進事業の展開	①	市民公益活動団体の交流の場の提供	市民公益活動団体同士の交流の促進を図り、新たな活動や取組につなげる。また、活動紹介を行うことで、市民の理解を促し、市民活動の裾野を広げる。	事業団	0 千円	ラウンドテーブルについては、多様な主体が関われるテーマとしたほか、SNSなど多様なコンテンツと連動した広報を行った。また、まち協職員や学生が参画し多彩な協働の形が生まれるよう出演コーディネートを行った。 ・市民活動交流会@くさつ 2団体 ・feel→do！プレゼンター 7団体 ・地域×大学マッチング会 地域10団体 大学11団体他 ・キラリエマツリサポート	5	A	0 千円	協働事業の具体化に向けて障壁となる課題を解決に導いた事例の紹介を行う。
		②	地域サロン交流会の実施 ボランティアフェスティバルの実施		社協	725 千円	・コロナ禍で活動の縮小を余儀なくされた音楽ボランティアを地域サロン交流会招き活動（演奏披露）の場として活用した。 交流会に参加したサロン活動運営者に地域サロンで役立つアイテム制作を体験していただき、地域サロン活動の活動プラン検討の参考にしていただいた。 サロン参加者6 6人 ・キラリエマツリと連携し、ボランティアマルシェを開催。	3		855 千円	・地域サロン活動の運営者から、成功事例や苦勞・課題を報告いただいたり、サロン活動を疑似体験できるような交流会を企画する。 ・ボランティアマルシェについて、学生ボランティアが企画・準備段階から参画したり、継続的に活動できる仕組みをつくり運用する。
B	まちづくり情報の収集・発信	①	ホームページ、SNS、ラジオ等を活用した情報の発信	市内のまちづくり活動や実務に役立つ情報等をホームページやSNS等を活用し、広く市民に発信することで、市民活動の活性化を図る。	事業団	2, 113 千円	事業や講演会の開会前に協働ひろば公式LINEの機能説明や友だち登録タイムを設けるなど積極的な啓発を行った。 ・えふえむ草津「くさつコミュニティTeaTime」出演 24団体 ・えふえむ草津「KUSATSU FRONT LINE」出演 23団体 ・協働ひろば公式LINE 友だち数316人	4	B	2, 183 千円	公式LINE友だち登録者数（600人）獲得に向け、ノベルティグッズなどを活用していく。また、
		②	社協HPによる情報発信		社協	275 千円	令和4年度にホームページをリニューアルした後も、使いやすさや見やすさが向上するよう、制作者のノウハウを活用しながら内容の見直しを随時行った。 ・アクセス数…83, 026件	3		283 千円	関係書式をダウンロードできるようにするなど、閲覧者の利便性向上につながる見直しを行う。
		③	まちづくり情報誌の発行		事業団	2, 884 千円	市内のまちづくり情報を広く市民に周知するために情報誌「コミュニティくさつ」を編集・発行。市内全域を取り上げる全市版を2回、市内各地域の取組みや魅力を地域住民に伝えるため、地域まちづくり協議会と連携し作成する地域版を2回の計4回発行を行った。地域版は「笠縫東」「常盤」を取り上げた。 ・発行/市域版2回 地域版2回 合冊版（地域版：笠縫東・常盤） ・市域版への読者感想 113件（平均56. 5件）	4		2, 808 千円	地域まち協サポート業務と連動し、有益な情報は「コミュニティくさつ」への掲載につなげる。 ・発行／市域版2回・地域版2回
		④	市民公益活動団体情報冊子の発行		事業団	64 千円	中間支援組織として基幹情報となる市内の市民公益活動団体情報を、団体間のネットワークづくりや団体活動における裾野の拡大を目的に、団体アンケート調査にて把握するとともに、得られた基礎情報をHPの団体DBで公開。また、団体にはアンケート回答へのレスポンスとしてニュースレターを発行し活動のスキル向上を図った。 ・アンケート調査 約280団体 ・HP掲載団体数 270団体 （新規掲載5団体 削除12団体） ・ニュースレター発行（11・3月） （R5年度目標 情報公開277団体以上）	3		83 千円	今年度より新たに行う「キラリエサポーター管理・登録業務」との連動や住み分けなどについて整理を行うとともに、情報公開団体数前年度以上（270団体以上）を目指す。 ・アンケート調査 ・ニュースレター発行（8・2月） ・「Kusatsu Front Line」への出演コーディネート
		⑤	社協くさつの発行		社協	2, 006 千円	紙面デザインや記事レイアウトについて、閲覧者が見やすい順番となるよう検討した。 また、事業の実施報告よりも、今後実施予定の事業の紹介記事に比重を置いて適時に掲載できるよう、紙面の計画に取り組んだ。 ・年4回発行	3		3, 089 千円	記事の表現や内容、レイアウトを工夫して、多くの市民が関心をもってご覧いただける紙面づくりに取り組む。市民に身近な関連情報を届けるために、各学区における取組情報を積極的に掲載する。 ・年4回発行
		⑥	ボランティアグループ・地域サロンリストの発行		社協	283 千円	リスト制作にかかる主な作業を外注して発行時期を早めた。また、表記やデザインを統一し、校正点検にあたっては閲覧者にとって見やすい資料となるよう心掛けた。 ・ボランティア・地域サロングループリスト 150部作成 ・出前ボランティア一覧 310部作成	3		225 千円	リストが市民のもとに届く時期を早めることができるよう、校正点検作業の効率化を図る。 ・ボランティア・地域サロングループリスト作成 ・出前ボランティア一覧作成

草津市協働のまちづくり推進計画 令和5年度取組実績および令和6年度予定 【中間支援組織】

※担当表記 事業団…草津市コミュニティ事業団、社協…草津市社会福祉協議会

目標値に関する項目…資料4の目標数値に関わる項目です。

資料6

	推進項目	No.	事業名	事業の目的	担当	令和5年度		事業評価 (1～5)	項目評価 (A～E)	令和6年度	
						決算額	取組実績			予算額	取組予定
C	相談・コンサルティングの実施	①	まちづくり活動相談とコーディネート 地域のまちづくりに関する支援（地域まちづくり計画、活動相談等）	相談対応やコーディネートを行うことで、まちづくり活動やボランティア活動に関する課題を解決する。また、他団体や人材とのコーディネートを行うことで、新たな活動に繋げる。	事業団	2千円	○市民活動団体や地域まち協、ボランティア希望者からの多彩なまちづくり相談に市民活動コーディネーターとして職員が対応。「団体や人の紹介」「活動取組・事業企画」「団体運営・会計」「活動資金の確保」など、活動に必要なアドバイスだけでなく、団体へのコーディネート、活動場所・助成制度の紹介や「協働ひろばチャレンジ企画」として事業の試行サポートを行うほか、市民活動交流会やfeel→do!への登壇コーディネートも行い、新しいネットワークの構築サポートと伴走支援を実施。 ・相談対応件数 394件 ・中間支援センター意見交換会 参加3回 ○地域まちづくり協議会等の地域自治組織における組織や事業運営、情報発信などの相談に対応。特に次世代育成や担い手獲得のための事業相談においては、構想から事業展開まで地域特性に沿ったプロデュースを行った。これにより立ち上がった事業や団体は、事業団の情報発信コンテンツに積極的に出演いただくなど多角的なサポートを実施した。また、地域に若い世代を取り込むための出会いの場として「地域×大学のマッチング会」を開催し、インターン学生主体で開催した。 ・地域まちづくり計画策定サポート（笠縫・大路） ・プロデュース型サポート（老上・志津・渋川） ・地域×大学マッチング会（再掲）	4	B	2千円	○相談対応カードのアップデートを行う。（相談件数400件以上） ・滋賀県市民活動支援センター意見交換会に世話人として参画 ○実務が伴うサポートについては有料化に協力いただき、得た収入は職員の人材育成に充当させていく。 ・地域×大学マッチング会 ・地域の好事例紹介事業 ・FM番組出演コーディネート ・地域まちづくり計画策定サポート（山田・志津） ・プロデュース型サポート
		②	地域福祉活動推進の支援（医療福祉を考える会議を中心とする課題共有とコーディネート） ボランティア活動の相談とコーディネート 地域サロン活動支援員によるサロンのコーディネート	相談対応やコーディネートを行うことで、まちづくり活動やボランティア活動に関する課題を解決する。また、他団体や人材とのコーディネートを行うことで、新たな活動に繋げる。	社協	52千円	○地域福祉活動推進の支援 ・地域福祉活動（学区社協）支援、担当職員配置 ・学区社協活動支援 1,612回 ・草津市地域福祉活動計画策定委員会および社会福祉法人連携会議の運営 ○ボランティア活動の相談とコーディネート ・ボランティア需給調整 253件 ・フードバンク事業 ・福祉車両貸出事業 327件 ・電話訪問事業 185回 ・傾聴ボランティア連絡会の開催 11回 ○サロンのコーディネート 交流会開催 参加者数 66人（41サロン） 立上げ講座開催 参加者 11人	3		51,532千円	○地域福祉活動推進の支援 ・地域福祉活動支援では、地域福祉コーディネーター等による支援・啓発活動を通じて、地域福祉活動の意義の啓発や活動担い手の育成に取り組む。 ・法人連携会議が実効性のあるものとなるよう、法人間の連携に関すること以外にも、今後の会議の運営方法等について参画法人の意見を積極的に聴取する。 ○ボランティア活動の相談とコーディネート ・ボランティアに関することやボランティア関連事業の内容や魅力を住民に届け、参画者を増やすことができるよう、ホームページや広報誌を活用したPRや関係施設等におけるチラシ設置等による従来からの方法を継続するほか、市社協や関係団体等の集客行事の場を活用した周知を積極的に行う。 ○サロンのコーディネート ・立上げ講座や運営者等交流会の開催を通じて、運営開始前後の課題把握に努め、これを解消できるような助言やコーディネートに取り組む。
D	人材育成事業の展開	①	目標値に関する項目 人材育成講座の実施（まちづくり、環境、教養講座等）	人材育成講座を実施し、市民のまちづくり活動に対する関心を高め、市民活動に携わる市民を増やす。	事業団	337千円	活動団体や新たな活動を始める市民に対して、市内外のまちづくり実践者を招き、まちづくり参加を後押ししたり、裾野を広げるための啓発型講演「ひととまちの未来をつくるカレッジ」および団体活動の実務スキルアップを目指す演習型講座「ひとまちキラリ実務講座」を開催した。第4回カレッジでは市社会福祉協議会と連携し、福祉・まちづくりの地域事例を紹介するコラボ企画として開催。また多様な参加方法としてアーカイブ配信を実施した。 ・ひととまちの未来をつくるカレッジ 計4回 参加者数 265人 （動画視聴数のべ2208回） ・ひとまちキラリ実務講座 計4回 参加者数 76人	3	B	239千円	来館見込み把握のためキラリ各入居者（受付含む）と連携し、駐車場の確保と案内誘導を実施する。 ・ひととまちの未来をつくるカレッジ ・ひとまちキラリ実務講座
		②	目標値に関する項目 人材育成講座の実施（ボランティア、福祉教養大学等） ボランティアセンターの運営		社協	906千円	○人材育成講座の実施 ・福祉教養大学の開催6回 受講生 延べ239人 ・福祉委員設置促進 市内福祉委員数 419人 ○ボランティアセンターの運営 ・登録団体 346団体 ・登録人数 6,070人	4		920千円	○人材育成講座の実施 多くの市民が福祉教養大学を受講されるよう魅力的な企画や周知方法の工夫に取り組む。 福祉委員活動が各地域で広く展開されるよう、福祉委員研修会を実施する。 ・福祉教養大学開催 ・福祉委員設置促進 ○ボランティアセンターの運営 ボランティア連絡協議会への加入団体やボランティア活動者の増加に向けた普及啓発等の取組を実施する。
		③	まちづくり協議会向け研修の実施	まちづくり協議会や基礎的コミュニティを対象とした研修の実施や、地域が主体となる会議の運営支援等を行い、組織の運営力を高めるサポートを行う。	事業団	6,439千円	「まちづくり協議会 会計・税務・労務サポート業務」の一環として、専門家による各種研修会、相談会を実施し適正な組織運営のためのサポートに努めた。また、市と協力しまちづくり協議会職員の交流会や新採研修なども開催した。その他、公式LINEの導入を希望するまちづくり協議会に対し、企業と連携し公式LINE運用研修と、担当者意見交換会を行った。 ・会計労務業務関係研修 延べ33学区 57人	4		6,439千円	会計、税務、労務の相談についてはより早い段階での相談を促すことに努める。 ・会計労務業務関係研修 ・新採職員研修（その他、まち協の必要性に応じた研修）
		④	医療福祉を考える会議を中心とする協議 近所力アップ講座の実施		社協	20,737千円	○各学区が抱える課題やその背景等について学区社協や住民等と整理し、学区の思いに沿った取組み方や支援のしかたを検討した。検討にあたっては、行政、関係機関、事業者等の専門的な意見も参考とした。 ・生活支援体制整備事業（医療福祉を考える会議等への支援） ・生活支援コーディネーターの配置：14学区 ・医療福祉を考える会議実施学区：13学区 （本会議：延べ23回 打ち合わせ等回数：延べ396回） ○近所力アップ講座 2回	3		22,308千円	○医療福祉を考える会議を中心とする協議 ・学区社協や地域住民と意見交換を行いながら、地域に応じた取組が推進されるよう会議運営等にかかる支援に取り組む。 ○近所力アップ講座の実施 ・福祉に関する講座を希望する住民の思いに応え、地域における福祉意識の醸成につなげられるような講座を提案できるよう取り組む。

草津市協働のまちづくり推進計画 令和5年度取組実績および令和6年度予定 【中間支援組織】

※担当表記 事業団…草津市コミュニティ事業団、社協…草津市社会福祉協議会

目標値に関する項目…資料4の目標数値に関わる項目です。

資料6

	推進項目	No.	事業名	事業の目的	担当	令和5年度		事業評価 (1～5)	項目評価 (A～E)	令和6年度	
						決算額	取組実績			予算額	取組予定
E	まちづくり活動支援・ 資金助成	①	目標値に関する項目 市民公益活動団体への立ち上げ資金の助成	団体の立ち上げや事業支援として 助成金等による資金面でのサポー トを行う。	事業団	1,895 千円	活動が概ね2年未満の団体やこれから活動をはじめる個人を対象とした立ち上げ支 援の助成と、すでに市民活動を展開する団体の新たな事業サポートを行うステップ アップ支援の2部門を実施。ひとまちキラリ実務講座による実務スキルのサポート を行うほか、キラリ工草津での各企画や企業が開催するマルシェへの出展なども コーディネートした。また、県が行う助成「子ども若者まんなか活動助成」におい ても、協力団体として草津市の2団体の伴走支援を行った。 ・提案数 立ち上げ7団体 ステップアップ6団体 ・助成 立ち上げ6団体 ステップアップ3団体 ・ひとまちキラリ実務講座 ・県子ども若者まんなか助成伴走 2団体	4	B	1,834 千円	助成提案が不採択となった団体へのサポートの継続を行う。 ・助成 立ち上げ6団体 ステップアップ3団体 協働枠1団体 ・ひとまちキラリ実務講座
		②	福祉活動団体への立ち上げおよび活動資金の助成 (地域福祉、ボランティア、地域サロン等)		社協	7,344 千円	ボランティア団体の活動費助成金が有効に活用されるよう、対象経費を整理して周 知した。また、申請手続きにかかる負担軽減や審査作業の効率化につなげられるよ う関係様式を見直した。 ・地域サロン助成金：146サロン (内新規：3サロン) ・ボランティア活動助成：88団体	3		8,777 千円	・地域サロンが設置されていない町内会等に対して、助成金制度とともに 立上げ講座に関する案内を行い、助成金を有効に活用いただきながら活動 が拡大されるよう取り組む。
		③	まちづくり活動場所の提供	活動場所の提供や活動団体が集ま る組織を運営することで、団体の 活動を支援する。	事業団	418 千円	キラリエ5F「協働ひろば」では市と協働し、まちのジブンゴトfeel→do!のスピン オフ企画を行うほか、漫画展・映画上映会・ワークショップイベント・マルシェ ブース活用など多様な利活用を提供しながら市民活動団体へのサポートを実施。1F プロムナードでもナツまつりや保護猫譲渡会をコーディネートした。また、事業団 指定管理施設である文化ホール(クレア・アミカ)、ロクハ荘、ロクハ公園とも連 携し、市民活動団体の多様な活動をサポートした。 ・協働ひろば利用数 704件 3545人 ・協働ひろば企画数 62件	5		214 千円	SNSを通じた協働ひろばの情報発信を行うことで、協働ひろばの有効活用を 図り、協働ひろばでの複数団体による協働事業を促進する。協働ひろば (自主企画10件持ち込み企画36件) ・市民公益活動団体による協働ひろば活用 ・協働ひろば公式LINE、Instagramの運用 ・団体情報収集・発信、場づくりのコンテンツの充実
		④	ボランティアセンターの運営		社協	109 千円	ボランティアセンターの運営を行った。 ・登録団体 346団体 ・登録人数 6,070人	3		158 千円	ボランティアセンターの運営を行う。
		⑤	活動に必要な機器の貸出 まちづくり協議会への支援(運営・会計、情報発信等)	イベントや催し等に必要となる各 種備品や設備等を貸し出し、活動 機会を創出する支援を行う。	事業団	11,877 千円	○活動に必要な機器の貸出 ・まちづくり機器貸出件数 89件 ・環境緑化機器貸出件数 173件 ○まちづくり協議会への支援 ・会計・税務・労務サポート業務 8,402千円 ・情報ネットワーク環境保守業務 2,750千円 ・まち協HPサポート業務 132千円	4		14,657 千円	○活動に必要な機器の貸出 ・まちづくり機器貸出業務 ・まちづくり関連機器情報の発信 ・機器貸出パンフレットアップデート ○まちづくり協議会への支援 ・会計・税務・労務サポート業務 ・情報ネットワーク環境保守業務 ・まち協HPサポート業務(HPリニューアル含む)
		⑥	福祉機器、福祉車両の貸出 地域支え合い運送支援事業 学区社会福祉協議会等福祉団体への支援		社協	6,097 千円	○福祉機器、福祉車両の貸出 ・福祉車両貸出 送迎対応件数 327回 依頼者数 24人 ・送迎ボランティア数 14人 ・福祉機器の貸出 車いす貸出 155回 ○地域支え合い運送支援事業 5学区で実施 ○学区社会福祉協議会等福祉団体への支援 ・各種福祉関係団体等への事業助成 ・ボランティア団体活動助成 ・地域福祉活動への助成	4		7,121 千円	○福祉機器、福祉車両の貸出 ・福祉車両貸出 ・福祉機器の貸出 ○地域支え合い運送支援事業 ○学区社会福祉協議会等福祉団体への支援 ・各種福祉関係団体等への事業助成 ・ボランティア団体活動助成 ・地域福祉活動への助成
		⑦	市民活動への表彰		事業団	1,695 千円	市内・地域における長年の地道な活動に対して”ありがとう”の気持ちを伝える表 彰制度を行った。地域のために長年活動しながらも、市域ではあまり知られていな い団体に対しては地域まち協の協力のもとアウトリーチを実施。副賞(賞金)への 寄付を行う企業数も5者増加した。また、事業団とつながりや関係が深い市民活動 団体に向けては他の市民活動表彰制度を紹介するとともに提案書の作成サポートを 実施した。 ・イキイキ活動賞 申請4団体 授賞3団体 ・寄付協力企業 12社 17万円 ・まちづくり活動助成/イキイキ活動賞	4		2,124 千円	事業団設立40周年事業(ひとまちキラリ大交流会)と連携した活動賞の周 知と授賞団体数の増枠(計8団体)を図る。 ・ひとまちキラリ イキイキ活動賞の実施 ・企業、事業所寄付の依頼 ・まちづくり活動助成/イキイキ活動賞(事業団設立40周年 活動賞5枠増 枠)
		⑧	社会福祉功労者表彰 共同募金運動の推進		社協	177 千円	○社会福祉功労者表彰 11月18日実施 31団体・30人に表彰状、感謝状を授与 ○共同募金運動の推進 一般募金実績 6,979,118円	3		293 千円	○社会福祉功労者表彰 11月に実施予定 ○共同募金運動の推進 一般募金目標額 8,000,000円
F	中間支援組織同士の連 携協力	①	まちづくりイベントの共同開催 指定管理施設での連携事業 ホームページを活用した各種貸出機器情報の共同発信	中間支援組織同士で連携を図り、 相互理解や中間支援力を高める。 また、類似する事業は合同で行う など、事業を効果的に実施する。	事業団 社協	760 千円	・キラリ工草津で開催したクリスマスイベントのほか、「草津福祉教養大学(市社 協)」と「ひととまちの未来をつくるカレッジ(事業団)」の合同企画を行った。 ・キラリ工草津や住民に身近なまちづくりセンターと連携して社協事業を展開する ことにより、社協事業の地域への浸透度を高めるとともに地域福祉活動の周知啓発 につなげることができた。 ・事業団のまちづくり機器と社協の福祉機器など、まちづくりに活用できる機材の 情報を集約し、一括でHPで発信しており、協働ひろばの設備の充実にも取り組ん だ。	2.7	C	6,215 千円	・キラリ工草津指定管理における提案事業(交流イベント)での協力 ・まちづくりイベント共同開催 ・住民との新たな交流を生むイベントの企画運営 ・まちづくりに活用できる機材の情報発信

【各施策評価】

5…計画以上の取組みを実施し、目標を大きく超える成果があった。
4…計画どおりの取組みにより、目標以上の成果があった。
3…計画どおりの取組みにより、成果があった。
2…取組みを行ったものの、思うほどの成果は得られなかった。
1…取組みまなかった、または、取り組むことができなかった

【推進項目ごと評価】

・施策評価の平均点数が 4.0以上5.0 → A
・施策評価の平均点数が 3.0以上4.0未満 → B
・施策評価の平均点数が 2.0以上3.0未満 → C
・施策評価の平均点数が 1.0以上2.0未満 → D
※小数点第2位は四捨五入